

# CONTENTS

03	ごあいさつ
05	東洋製罐グループの誕生とあゆみ
07	包み、はぐくむ。
08	東洋製罐グループ
09	社会と環境に容器が果たす役割
11	東洋製罐グループの環境技術
13	2008年度 東洋製罐トピックス
15	特集1 ベットリファインテクノロジー設立
16	特集2 海外での取り組み
17	特集3 東洋製罐グループ 事業所から
18	社会性報告
	東洋製罐グループ 2008年度財務ハイライト
19	コーポレート・ガバナンス
21	コンプライアンス
23	リスクマネジメント
24	情報セキュリティリスク低減への取り組み
25	お客さまとのかかわり ～安全・安心を世界へ～
28	取引先とのかかわり
29	従業員とのかかわり
32	社会とのかかわり ～社会から信頼される企業であるために～
37	海外通信 TULCの海外事業展開／社外からの評価・表彰
38	環境報告
	東洋製罐グループ 環境方針
39	環境経営
40	ISO14001統合システムでの運用
41	地球温暖化防止のための取り組み
43	廃棄物における取り組み
44	LCAへの取り組み
45	3Rへの取り組み
46	環境面からみた物質フロー
47	2008年度 環境活動報告
48	2009年度からの環境目標
49	東洋製罐グループ環境目標
50	第三者意見書

## 報告書の要件

1. 報告の対象範囲  
東洋製罐(株)の活動を基本に、一部の報告では東洋製罐グループ全体、あるいはグループ会社の活動についても取り上げ、ご紹介しています。
2. 対象期間：2008年4月1日～2009年3月31日(一部2009年6月までの情報も含まれます)
3. 対象分野：社会、環境
4. 発行日：2009年7月
5. 次回発行予定：2010年7月
6. 作成部署および連絡先：東洋製罐(株) 資材・環境本部 環境部  
〒100-8522 東京都千代田区千代田1-3-1(幸ビル)  
tel: 03-3508-2158 fax: 03-3503-5418  
東洋製罐ホームページ  
URL: <http://www.toyo-seikan.co.jp>

本報告書は環境省「環境報告ガイドライン2007」とGRI「サステナビリティレポーティング ガイドライン2006」を参考に作成しています。

## 「社会・環境報告書2009」編集方針

本報告書は、東洋製罐グループが重要と考えている事項やその推進方法、活動事例などをわかりやすくお伝えすることを目的として作成しています。作成においては、社内外アンケートの結果やステークホルダー・ミーティング、社内読書会などでいただいた多くの意見をもとに報告内容の選定を行いました。当社グループとグループにかかわりのある方々とをつなぐコミュニケーションツールとしてはもちろん、今までご存じなかった方との対話のきっかけとなるように、「社会」と「環境」に対するグループのかかわりを中心にまとめています。

今回冊子に載せられなかった項目については、Webページにて公開致します(Webページ追加項目一覧はP49参照)。Web版の公開は2009年8月を予定しています。

